



日本の宝島“天草”の創造を目ざして！

市政だより AMAKUSA 天草



「甘い秋見つけたー“秋の実りに笑顔も鈴なり”」

11月27・28日、有明町で農林水産物の収穫に感謝する『有明うまかもん収穫祭』が、JAあまくさ有明振興センター一帯で開催されました。そのイベントの一つとして行われた「温州みかんの収穫体験」に、浦和小学校の3・4年生24人が参加。児童たちは、木にたわわに実ったみかんを切り取って、その場でおいしそうにほおぼり“旬の味覚”を堪能。辺りには、みかんの収穫を楽しむ児童たちの声が響き渡っていました。

主な内容

- 新年あいさつ 2～3
- 寅(とら)年生まれ大集合！新年の抱負・・ 4～5
- 天草御所浦ジオパーク 6～9
- バイオマスセンター公募 10～11
- 宝島の話題 12～15
- みんなの広場 16～19

平成22年

1

1

No.90

迎春



天草のさらなる 発展を目ざして

天草市長
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、平成18年3月27日に天草市が誕生して、早いもので4度目の新年を迎えました。「天草の島としてのエネルギーを信じよう。島として、一つの塊に戻ろう」と、硬く手を握り合った合併調印式を思いながら、私は、「日本の宝島天草の創造」の基本理念のもと、新市建設に全力で取り組んでまいりました。そして、この4年間に、まちづくり協

議会や地区振興会で、特色ある活動が展開されていることを、大変心強く感じています。

また、経済情勢が依然として大変厳しい中、昨年は、倉岳の棚底城跡の国史跡指定や御所浦のジオパーク認定など明るい話題があり、さらに今年、天草キリシタン館が、オープンします。私は、これらの取り組みを、地場産業の振興や雇用対策につながる施策として、推進していかねければならないと考えています。

昨年、およそ半世紀ぶりに政権が交代しました。政策の大きな変化が予測されるなか、市民生活に混乱を招くことがないように、地方行政の持続性の大切さを、地方の声としてしっかりと伝えて行く必要があると強く思っています。

天草市としての一体感を醸成し、「日本の宝島」の実現に向け、さらに全力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、新年が、皆様にとりまして幸多い年となりまうご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

新たなスタートに 向けて

天草市議会議員
濱 廣昭

明けましておめでとうございます。平成22年の輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表し、謹んでごあいさつを申し上げますとともに、平素から深いご理解と温かいご支援を賜りましたことに、心からお礼を申し上げます。

さて、わが国では、一昨年の世界金融危機に端を発した景気低迷から、今なお抜け出せない状況が続いており、昨年、約半世紀ぶりでの政権交代が現実のものとなった現在、景気回復に向け、多様な

施策が模索されています。

天草市においても、持続的な物価下落が続く中、雇用状況は改善を見せず、また、急激な人口減少や少子高齢化が顕著になるなど、多様な難題が山積しております。今後の国の動向を迅速的確に捉え、まずは市基幹産業である第一次産業の振興を推進し、あわせて、さらなる市財政の健全化や効率的な行政運営に努め、来る地域主権時代に向け、行政と市民との協働によるまちづくりを推進していかなければなりません。

新市誕生後、私たち市議会も、市民の皆様の本心に温かいご理解ご支援により、多くの難題を解消すべく論議を重ね、行政機関とともに努力を傾注してまいりましたが、残すところ3カ月をもって改選期を迎えることとなります。

天草市のさらなる発展のため、議会活動を誠心誠意、全力を尽くす覚悟でございますので、今後ともさらなるご理解とご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



— 新和町・大多尾小峰海岸線からの眺望 (12月4日撮影) —

市民の皆様
あけまして
おめでとうございます



天草市役所
市長 安田 公寛
副市長 古田 勝人

天草市議会
議長 濱 廣昭
副議長 野嶋 健一

議員

池田 次人
北野 鋼一
藤崎 正博
濱崎 昭臣
江浦 政巳
吉川 徳澄
本田 武志
大塚 基生
平石 水穂
宮下 重康
楠本 千秋
中村 五木
平山 泰司
脇島 義純
池田 裕之
松江 雅輝
田中 茂
赤木 武男
鎗光 秀孝
中村 三千人
船辺 修
蓮池 良正
若山 敬介
勝木 幸生
宮下 幸一郎
中尾 友二
古賀源一郎
浜崎 義昭

新春企画

寅年生まれ 大集合!



新年の抱負

新春企画として、今年の干支である寅年生まれの年男
年女の皆さんに、「今年はこんなことを達成したい」「あ
んなことをしてみたい」など、新年の抱負を語って
いただきました。

尾下良二さん
昭和61年9月9日生
(河浦町河浦)



2回目の年男です。今までど
おり仕事やスポーツをがんばっ
ていきます。特に、趣味のマラ
ソンには力を入れ、天草マラソ
ン大会では上位を目指します。

原田タエさん
大正3年1月13日生
(栖本町湯船原)



昨年は、健康で何事もなく、
すばらしい1年でした。今年も
日課の散歩を続け、病気をしな
い体づくり、健康の維持に努め
ていきたいと思っています。

山下サキ子さん
昭和13年4月2日生
(五和町鬼池)



季節を通じていろんな農作物
を作り、毎月収穫を行っています。
今年も家族全員が、健康で
いっしょに仕事ができる幸せな
年になることを願っています。

中上直樹さん
昭和37年12月9日生
(倉岳町棚底)



ジョギングが日課で、えびす
マラソンやパールラインマラソ
ンに出場しています。今年は思
い切って天草マラソンのハーフ
に挑戦しようと思っています。

蓮池杏佳さん
平成10年1月14日生
(宮地岳町)



宮地岳小で唯一の年女です。
4月から中学生になりますが、
テニスや吹奏楽のどちらかをし
てみたいと思っています。勉強
ももちろんがんばりたいです。

中野栄一さん
昭和49年10月15日生
(魚貫町)



仕事や育児、消防団の活動で
忙しい毎日ですが、今年も事故
やけがに気をつけ、家族全員が
何事もなく、健康で笑って過ご
せる1年にしたいと思います。

谷静江さん
昭和13年11月24日生
(河浦町今田)



趣味の大正琴をがんばりま
す。主人も年男ですが、お酒は
ほどほどにしてもらい、いつま
でもともに健康でいたいです。
また、孫の成長も楽しみですね。

尾田宏人さん
昭和37年4月26日生
(新和町小宮地)



介護の仕事現場は、人手不足
や重労働など待遇は良いとはい
えません。今後、高齢者が安心
して生活できるような環境が整
備されることを期待します。

吉田重徳さん
昭和49年11月25日生
(栖本町河内)



昨年は毎日の業務に追われ、
慌ただしく過ごした1年でした。
今年は今まで以上に、皆さん
から愛される河童ロマン館を
築いていきたいと思っています。

小浦クミさん
大正15年3月20日生
(牛深町)



友だちと話をしたり笑ったり
することが健康の秘けつです。
かわいいひ孫と楽しく遊べるよ
うに、今年も健康に気をつけて
楽しい1年にしたいです。

柴田満夫さん
昭和13年12月12日生
(有明町上津浦)



今、イチゴの出荷で忙しい
日々を過ごしています。たまに
は孫たちといっしょに、ゆった
りのんびりと三社参りや旅行に
でも行ってみたいですね。

脇島恵さん
昭和37年6月8日生
(御所浦町御所浦)



主人と小学6年生の次男、そ
して私の3人が寅年生まれで、
今年は何か良い年になりそう
です。夫婦で営んでいる居酒屋の
商売繁盛も願っています。

松崎高さん
昭和25年8月7日生
(天草町下田北)



頭も体力も衰えてきましたが
「まだ60歳」の気持ちで仕事や
趣味に励みたいと思います。特
に、旅行やウォーキングをして
ストレス発散をしたいですね。

端迫恵さん
昭和61年11月12日生
(倉岳町浦)



仕事とプライベート、どちら
も充実させることを目標にし
て、自分磨きの1年にしたい
です。その中で、すてきな出会
いがあるといいですね。

清水美佳さん
平成10年12月28日生
(天草町高浜南)



最上級生になるので、新1年
生に分らないことを教えて
たり、部活動では、新しく入っ
た人に、バスケットボールの技な
どを教えたりしたいです。

吉田忠士さん
大正15年9月10日生
(御所浦町横浦)



魚釣りを毎日がんばってい
ます。これからも健康に気をつけ
て、毎日の晩酌を楽しみながら、
変わらず大好きな魚釣りを続け
ていきたいと思っています。

船田真由美さん
昭和25年12月2日生
(新和町大多尾)



昨年は、3人の子どものうち
の娘に孫ができました。今後は
夫婦仲良く、孫たちのためにも
健康で生きおばあちゃんとして
がんばりたいです。

田口倫太郎さん
平成10年1月23日生
(五和町城河原)



4月から中学生です。残りの
小学校生活で、勉強にも部活の
サッカーにも毎日がんばりま
す。中学校では、勉強時間をも
っと充実させたいです。

角中知子さん
昭和49年3月14日生
(有明町大島子)



3姉妹の育児中で、日々娘た
ちの成長を感じています。かわ
いい娘たちに負けないよう自分
自身もいろいろなことに挑戦し
て、成長できる年にしたいです。

川崎善之助さん
大正15年4月10日生
(下浦町)



みかんを40年近く栽培して
いますが、今後も変わらず元気
に作っていききたいですね。また、
妻や家族ともこれまでどおり仲
良く暮らしていきたいです。



▲8月に開催された親子セミナーの様子

日本ジオパーク委員会から本市の御所浦地域が平成21年10月28日、日本ジオパークネットワーク地域に認定され、『天草御所浦ジオパーク』が誕生しました。今回の認定により、日本ジオパーク地域は11カ所になりました。

御所浦地域のジオパークへの取り組みの基本理念は、旧御所浦町が平成10年から推進していた「全島博物館構想」に基づいています。「天草御所浦ジオパーク」の拠点となる天草市立御所浦白亜紀資料館（旧御所浦町立）は、同9年の

天草御所浦 ジオパークの特徴

開館以来、御所浦地域から産出する恐竜の化石をはじめとする数多くの種類の化石を中心に、天草地域の地質や地形資料を展示・公開しています。

それだけでなく、化石を軸にした自然環境教育プログラムを設け、積極的に教育活動を行ってきました。たとえば修学旅行で来島した生徒たちは、資料館で地質を学んだり、採掘場で化石を採集したりしながら島内の各家庭にホームステイし、島の生活を体験しています。生徒たちはそれぞれの家庭や地域の人々との交流の場で、日ごろとは違った視点により、この島の魅力を見たり感じたりするなかで、新たな交友関係のあり方を学び、知り、また、違った世界に視野を広げて成長していきます。

同地域でのこのような活動は、青少年に自然環境を実体験として学ぶ場を提供するだけでなく、地域活性化の推進母体となりつつあります。また、磯観察、とんこ漁体験、伝馬船こぎ体験など、地域の自然や文化と融合したプログラムと組み合わせられた教育・観光が実施できるのも「天草御所浦ジオパーク」の特徴といえます。

“ジオパーク”って何？

ジオパークとは、重要な地質・化石・地形が存在するとともに、大地にかかわりながら生きる人々や文化・動植物の生態系があり、地域に保護されつつ活用されている地域のことです。「大地の遺産を活用した自然公園」と表現できます。このジオパークには、ユネスコ（UNESCO：国際連合教育科学文化機関）の支援で設立された世界ジオパークネットワーク（GGN）と、世界の各地域が組織するジオパークネットワーク、たとえば日本ジオパークネットワーク（JGN）など、2つの組織が

あります。平成21年11月の時点で、GGN地域に19カ国64地域（日本の3地域を含む）、JGN地域に11地域（日本の世界ジオパーク3地域〔北海道・洞爺湖有珠山、新潟県・糸魚川、長崎県・島原半島〕を含む）が認定されています。

ジオパーク地域は、ジオサイトとよばれる地形や地層などを観察・体験できる場所と、それを楽しむ資料・説明板を整備し、ツアーや学習旅行などのジオツアーを企画するとともに、地域の物産やジオパークに関わる商品などで地域振興することができます。

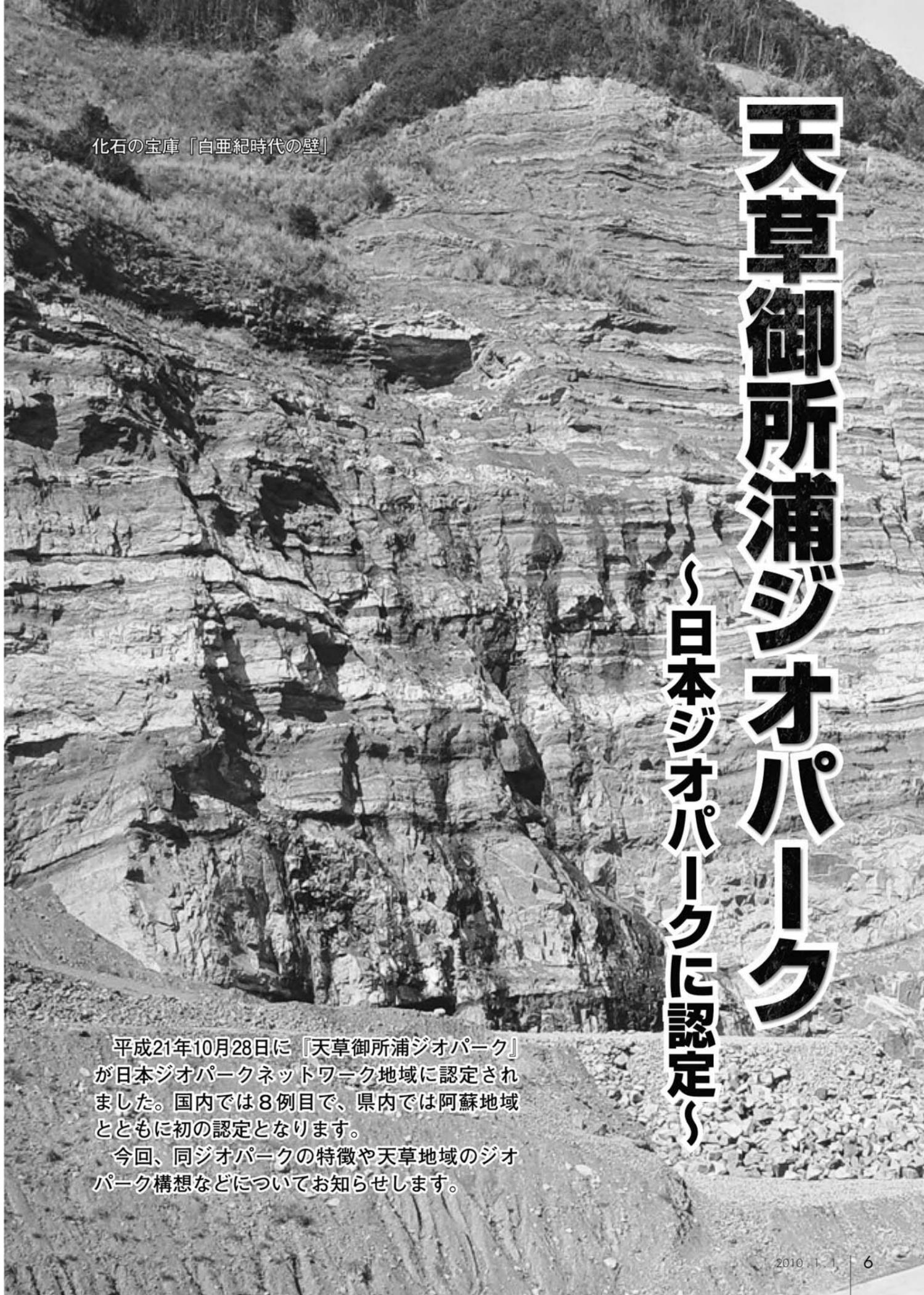


▲生物保護地看板



▲地層解説板

化石の宝庫「白亜紀時代の壁」



天草御所浦ジオパーク 日本ジオパークに認定

平成21年10月28日に『天草御所浦ジオパーク』が日本ジオパークネットワーク地域に認定されました。国内では8例目で、県内では阿蘇地域とともに初の認定となります。

今回、同ジオパークの特徴や天草地域のジオパーク構想などについてお知らせします。



空から見た御所浦島全景



トリゴニア砂岩化石採集場のようす

「天草御所浦ジオパーク」ボランティアガイド育成初級講座

天草ジオパーク構想推進協議会では、御所浦の化石や地質について説明していただくボランティアガイドを育成するため、初級講座を実施します。受講料は無料です。皆さんの受講をお待ちしています。

■講習・認定試験予定日

●講習…1月24日⑩、2月7日⑩・21日⑩（時間はいずれも午後1時から同3時まで）。

●認定試験…3月7日⑩（時間は午前11時から午後3時まで）。

■ところ=いずれも御所浦白亜紀資料館、トリゴニア砂岩化石採集場。

■定員=30人（申込者多数の場合は抽選）。

■申込期限=1月17日⑩午後5時まで（必着）。

※申込方法などの詳細は、御所浦白亜紀資料館へお尋ねください。

【問い合わせ先】
御所浦白亜紀資料館 ☎0972325

同雲仙市・同南島原市・天草市・上天草市・荅北町）は平成21年度からジオミュージアム観光を概念として「雲仙天草観光圏整備計画」をスタートさせています。このように「天草御所浦ジオパーク」と「島原半島ジオパーク」は互いに連携した取り組みを行う基盤ができています。また、天草地域は「島原半島ジオパーク」と「阿蘇ジオパーク」の2つのジオパーク地域の中間的な地理的位置にあります。九州にある3つのジオパークが互いに連携した取り組み、たとえば3地域を巡るジオツアーの開発などを行うことになれば、

ジオパーク活動のより大きな枠組みをアピールできるようになります。それは、今後、国内だけでなく国際的ジオパーク活動の発展地として飛躍できる良い機会といえるでしょう。



◀約1億年前の肉食恐竜カルノサウルス類の歯の化石。

日本ジオパーク委員会から高い評価を受ける

ジオパーク認定の審査機関である日本ジオパーク委員会は、「天草御所浦ジオパーク」の優れている点として、①化石の島と名乗るのにふさわしい地域であること②観光による島の地域振興に化石や地層をいかしたプログラムが取り入れられ、活動が10年近くも維持されていること③地元のアイランドツーリズム推進協議会が白亜紀資料館と連携してガイドツアーを実践し、民泊も行われていること、などをあげています。

このように、御所浦地域で行われてきた活動が、日本ジオパーク委員会では高く評価されました。

天草地域のジオパーク構想

平成21年4月に結成された「天草ジオパーク構想推進協議会」は、すでに整備が進んでいる「天草御所浦ジオパーク」を拠点として、天草全島に分布する大地の遺産を世界ジオパークネットワークに登録する構想（天草ジオパーク構想）

に基づき、活動を始めました。今回の「天草御所浦ジオパーク」の認定により同協議会は第一歩を踏み出しましたが、すでに多くの課題も出てきています。その課題は日本ジオパーク委員会の審査によって指摘された改善点をはじめ、同委員会が今後の活動で期待している点を天草ジオパーク構想に盛り込むこと、そして天草全体の取り組みとして隣接する自治体と協力してジオパークを推進することなどがあります。

一方で、長崎県島原地域と天草地域の5市1町（長崎県島原市・



◀アンモナイトの化石。九州最大級で直径60cmもある。

バイオマスセンター(仮称)の整備に向けて

市では、地球温暖化の防止や資源循環型社会の構築などを図るため、平成20年2月に「天草市バイオマスタウン構想」を策定しています。

この構想の中で、し尿・浄化槽汚泥・生ごみなどを利活用する施設「バイオマスセンター(仮称)」を建設することとして、現在その施設整備について計画を策定中です。

そこで、同センターの施設イメージや建設候補地の募集などについてお知らせします。

【問い合わせ先】本庁・環境課環境政策係 ☎231111内線1282

なぜ、し尿・浄化槽汚泥などの処理施設の建て替えが必要？

市内の「し尿・浄化槽汚泥」は、市が運営する「本渡衛生センター」(本渡・五和地域)、「牛深し尿処理場」(牛深・新和・天草・河浦地域)と、上天草衛生施設組合が運営する「上天草衛生センター」(有明、御所浦、倉岳、栖本地域、上天草市)で処理しています。

この中で、市が運営する2つの施設については老朽化が進み、建て替えなどの検討を行う時期になっており、速やかに事業を実施する必要があります。

バイオマスとは？

バイオマスとは、動植物などによって生み出される再生可能な有機性の資源で、石油などの化石資源を除いたものをいいます。具体的には、生ごみ・生活排水汚泥・家畜の排せつ物や、稲わら・さとうきび・トウモロコシなどがあります。

バイオマスは、石油や石炭などと違って、適切に管理すれば枯渇することなく、永久に使い続けることができます。また、エネルギーとして活用しても、大気中の二酸化炭素を増加させず地球温暖化の防止につながるなど、環境に優しい資源といえます。

バイオマスセンターの建設候補地を募集します！

今回、建設するバイオマスセンターは、資源循環型社会を構築するとともに、所在する地域に受け入れられる安心・安全なモデルとなる施設を目指しています。そこで、「天草市バイオマスタウン構想」の中核となる、同センターの建設候補地を募集します。

なお、建設候補地が決定した場合は、地域との協議を踏まえ、道路整備などの生活基盤整備や地域活動への助成などによる、「地域還元事業」を優先的に取り組むこととなりますので、まちづくりなどにぜひご活用ください。

■応募要件

- 次のすべての要件を満たすこと
 - ・ 天草市内で、敷地面積がおおむね4万㎡確保できること。
 - ・ 土地所有者が、用地提供に承諾されているか、または承諾される見込みがあること。

- ・ 周辺地域(おおむね半径500m以内の地区)の同意が得られているか、または同意が得られる見込みがあること。

■ 応募方法 = 2月15日(金)までに、本庁・環境課に備え付けの申込書に必要事項を記入し、建設候補地がわかる位置図や同意書などを添付し同課へ提出してください。

※ なお、申込者は行政区長など、地域の代表者に限ります。

■ 審査方法 = 応募された候補地と「バイオマスセンター候補地選定委員会」が選定した候補地とあわせて、法規制・自然条件などを調査し検討したうえで、総合的に評価し決定します。

■ 応募先 = 〒863-8631 (住所記載不要)
天草市役所・環境課
☎231111

天草広域連合からのお知らせ

天草広域連合では「新ごみ処理施設」の整備を計画しており、1月15日(金)まで、約35,000㎡の用地について公募中です。

バイオマスセンターとごみ処理施設との併設は、経費削減や処理水の有効利用など多くのメリットがありますので、併設できる用地についてもご協力をお願いします。

【問い合わせ先】天草広域連合環境衛生課 ☎270888

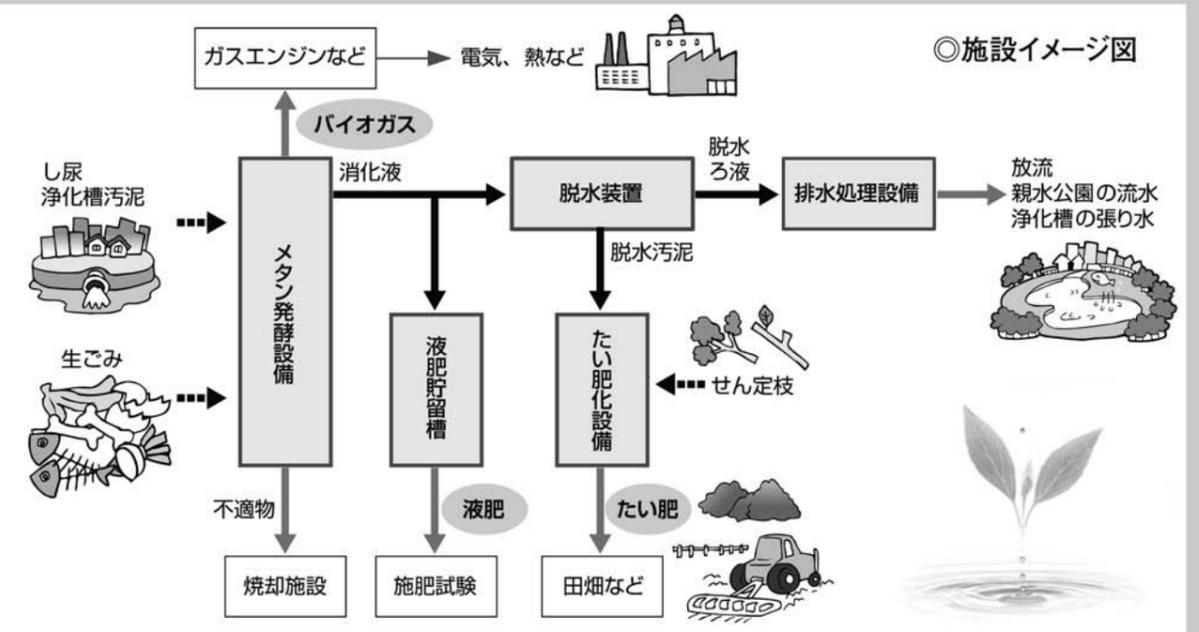
バイオマスセンターは次のような 施設整備をイメージしています！

今回、整備を行うこのバイオマスセンターはバイオガスや余熱が有効に利用できる資源循環型施設とし、環境学習空間など環境保全の総合センターとしての機能を持つ施設を目指します。

- ◆ 生ごみやし尿・浄化槽汚泥をメタン発酵処理し、バイオガスを回収します。
- ◆ メタン発酵後に発生する消化液の一部については、液肥としての利用の可能性を検討します。
- ◆ 脱水汚泥は、たい肥化により有効利用を検討します。
- ◆ 脱水ろ液は、排水処理設備で処理した後、放流のほか親水公園の流水や浄化槽の張り水などとしての利用を検討します。
- ◆ 環境学習スペース、親水公園、試験ほ場などの修景施設を合わせて検討します。

《解説》

- ※1 生ごみなどの有機物を嫌気状態(酸素が無い状態)におき、微生物の働きによりメタンガスなどを発生させる方法
- ※2 メタン発酵により得られる可燃性のガス
- ※3 消化液を脱水した後に発生する固形物
- ※4 消化液を脱水した後に発生する液体





▲着物姿で踊りを披露する園児

おじいちゃん、おばあちゃん、元気で長生きしてね！ 11/25
 ～栖本保育所園児が梅寿荘を訪問～ 栖本

11月25日、栖本保育所の園児が養護老人ホーム梅寿荘を訪問し、お遊戯などを披露しました。これは同保育所が、日ごろ子どもたちとふれあう機会が少ない入所者を元気づけようと、毎年実施しているもの。この日は4・5歳の園児13人が、着物やドレスなど色あざやかな衣装に身を包み、音楽にあわせて愛きょうたっぷりに踊りを披露。会場に集まった50人の入所者などは、園児たちのかわいらしさに目を細めながらうれしそうに見入っていました。

花の種に思いやりの願いを込めて 11/27
 ～人権の花運動～ 本渡

11月27日、人権の花運動の発表会が楠浦小学校で行われました。これは、花を育てることを通して、生命の尊さや思いやりの心を学ぶことなどを目的に実施され、児童による活動発表や歌の披露が行われたほか、花壇で育てたヒマワリなどの種とメッセージを付けた紙風船200個を、校庭から秋晴れの空に向けて飛ばしました。後日、同校には「種は庭や畑にまいて大切に育てます」という手紙が寄せられ、児童たちは願いが届き大喜びでした。



▲それぞれの願いを込めて紙風船を飛ばす児童たち

海からのごみの正体を探る 11/28
 ～大島の漂着ごみ調査～ 牛深

牛深沖の約4kmにある無人島「大島」で11月28日、海岸の清掃と漂着ごみの調査（牛深ロータリークラブ主催）が行われ、牛深地域の住民80人が参加しました。参加者は、同島の海岸沿いなどを巡回し、約1.5tのごみを回収。その後、ペットボトルや金属片など、ごみの種類ごとに分類しデータをまとめました。今回の調査結果は、全国で海や川の環境保全を行う「環境NGO・クリーンアップ全国事務局」に報告され、ごみ問題の啓発に役立てられます。



▲集めたごみを分類する参加者

家庭生ごみを肥料として還元 11/29
 ～生ごみリサイクル肥料の活用～ 五和

「柿の郷づくり」を目ざしている手野まちづくり振興会が11月29日、同地区内の県道47号線沿いに景観用として植栽している、柿の木の肥料まき作業を実施しました。この肥料は、市バイオスタウン構想の一環で、昨年6月から五和地区で実施中の「生ごみ分別事業」で収集された生ごみをリサイクルして作られたもの。作業に参加した同振興会の景観デザイナー部員は「生ごみが有効に還元されていることを多くの人に知ってもらいたい」と話していました。



▲柿の根元に肥料をまくようす



Treasure Island Topics
宝島の話

一心不乱に竜の玉入れに挑む 11/15
 ～しんわ楊貴妃祭り～ 新和

11月15日、「第13回しんわ楊貴妃祭り」が市役所・新和支所周辺で開催され、市内外から約5,000人が訪れました。これは、楊貴妃祭り推進協議会が、竜洞山のふもとで言い伝えられている「楊貴妃伝説」にちなんで毎年行っているもの。イベントでは、楊貴妃太鼓の演奏や農産物の展示・販売などのほか、優勝賞金10万円の「楊貴妃杯竜の玉入れ選手権」を実施。参加した22チームの選手たちは、優勝を目ざし一心不乱になって玉を投げていました。



▲かごを目がけて一生懸命に玉を投げる選手たち



▲ガイドの説明を熱心に聞く観光客

崎津の案内はおまかせください！ 11/17
 ～地域観光ボランティアガイドNPO「さいのつ」発足～ 河浦

年間を通して多くの観光客が訪れる崎津天主堂など、崎津地区の歴史や昔ながらのたたずまいをわかりやすく伝えていこうと11月5日、地域観光ボランティアガイドNPO「さいのつ」（船津智恵子代表）が発足しました。同17日には、訪れた観光客に「トウヤ」や「カケ」といった崎津特有のまち並みなどを、方言を交えながら親しみを込めて案内。船津代表は「1人でも多くの人に喜んでいただき、崎津の風土や歴史を伝えていけたら」と話していました。

史跡や観光施設などを巡る 11/22
 ～上津浦地区ウォークラリー～ 有明

11月22日、上津浦グラウンドを発着とする約7kmのコースを歩く「上津浦地区ウォークラリー」が開催され、市内外から150人が参加しました。これは同地区振興会が、史跡や観光施設などを巡り、同地区の良さを再発見してもらおうと初めて実施。参加者は、同地区振興会が作成した特製マップを頼りに、キリシタン墓碑や巨大タコのモニュメント「ありあけタコ入道」など6カ所のチェックポイントを散策。肌寒い天気の中、秋の上津浦路を楽しみました。



▲チェックポイントの「ありあけタコ入道」でひと休み

生ごみ減量化の新製品

～生ごみの水切り具で実用新案～

このほど、五和町二江の石山澄夫さんが考案した“生ゴミの水切り具”が、特許庁の実用新案に登録されました。これは石山さんが、市バイオマスタウン構想の一環で、6月から五和地区で実施している生ごみ分別事業に取り組んだことがきっかけ。この水切り具は、穴の開いた容器に生ごみを入れ、その上に石製のおもしを乗せ水分を切る構造。石山さんは「誰でも簡単に水切りができるようにとの思いで考案した。皆さんのお役に立てれば」と話していました。



▲石山さんと水切り具

天草上島を横断する農道が開通

～上島中央広域農道開通式～

下浦町から上天草市松島町を結ぶ総延長約23kmの「上島中央広域農道」の開通式が11月25日、市や地元関係者など約100人が参加して行われました。この農道は、農産物の流通網の整備などを目的として昭和57年に着工し、昨年11月に完成したものの。式典では、神事が行われた後、同農道事業推進協議会会長の安田市長が「農産物の流通改善のほか、生活道路としても期待している」とあいさつ。

その後、開通を記念してテープカットが行われました。



▲開通を記念してテープカット

潮風が薫る秋の天草路を力走

～天草マラソン大会～

11月22日、「第4回天草マラソン大会」が本渡運動公園陸上競技場前をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開催されました。

当日はあいにくの雨で肌寒い中、県内唯一のフルマラソン（日本陸上競技連盟公認コース）とハーフマラソンに、県内外から過去最多となる1,752人（フルマラソン1,064人・ハーフマラソン688人）が参加。選手たちは、潮風が薫る秋の天草路を力走しました。また、同大会には、世界陸上セベリア大会・女子マラソン銀メダリストの市橋有里さんがスペシャルゲストとして来場。市橋さんは、参加者といっしょにマラソンを楽しんだり、表彰式ではプレゼンターを務めるなど大会を盛り上げました。

このほか、同競技場内では地元の物産販売や福引き付きもち投げなども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

なお、大会結果は次のとおりです。

- 大会結果（1位のみ。敬称略）…フルマラソン男子・田尻貴之（宇城市）、同女子・小渡正子（長崎県）、ハーフマラソン男子・福田哲哉（球磨郡錦町）、同女子・蛸原奈津恵（宮崎県）。



▲フルマラソンに参加の1,064人が一斉にスタート!!



▲沿道からは盛んな声援 ▲ボランティアスタッフが大会運営をサポート



▲完走し充実した表情でゴールする選手 ▲あいさつをするスペシャルゲストの市橋さん

農作物の競り売りで大にぎわい

～下田南地区文化祭～

11/28・29
天草

11月28・29日、下田南公民館で「下田南地区文化祭」が開かれました。これは同地区振興会が、農作物・手芸品の出展や学習発表などを通じて、住民の交流を深めようと毎年実施。小学生による歌や朗読発表のほか、地区住民による大正琴や日本舞踊などが披露されました。また、出展された農作物の競り売りでは、参加者が目当ての野菜などを手に入れようと、競り人の威勢の良いかげ声にあわせて「100円、200円」と声をあげ、会場は大にぎわいでした。



▲新鮮な農作物を競る参加者

冬の名物イベントを楽しむ

～牛深あかね市～

12/5・6
牛深

「第20回牛深あかね市」が12月5・6日、牛深ハイヤ大橋横芝生広場一帯で開かれました。“あかね”とは、大漁を意味する牛深地方の方言。最大の呼び物“あかねタイ釣り大会”には、県内外から約1,300人が参加。1万匹のマダイが泳ぐイカダから、大物が釣れるたびに大歓声があがっていました。このほか、牛深ハイヤ保存会や地元中高生による牛深ハイヤ踊りの披露、新鮮な農水産物の販売などを実施し、約23,000人の観光客などでにぎわいました。



▲真剣なまなざしでタイ釣りをしようす

年に1度のひとときに“えびす顔”

～関西ふるさと倉岳会～

12/6
倉岳

12月6日、22回目となる「関西ふるさと倉岳会」が大阪市で行われ、関西在住の同町出身者など約200人が参加しました。同会では、総会后、舞踊や歌の披露のほか全員参加の踊りなどを実施。参加者は、年に1度の楽しいひとときを終始“えびす顔”で過ごしていました。また、今回は宮田・棚底・浦地区の各地区振興会会長が参加し“ふるさとのいま”を報告。会場では、故郷を懐かしんだり、昔の思い出話に花を咲かせるなど大いに盛り上がりしました。



▲踊りや再会を楽しむ皆さん

大学生が島民とふれあい地域を学ぶ

～熊本学園大学フィールドワーク～

12/12・13
御所浦

12月12・13日、熊本学園大学社会福祉学部の学生ら約100人が、御所浦町で1泊2日のフィールドワーク（現地研修）を行いました。これは同大学が、島で暮らす人たちの生活にふれ、地域づくりや社会福祉の現状・課題などを学ぼうと平成19年度から実施。研修では、御所浦の歴史や文化、漁業、高齢者の暮らしなどを地元住民から聞くテーマ別学習のほか、化石発掘や伝馬舟のろこぎ体験などが行われ、学生たちは島の充実した2日間を過ごしました。



▲地元住民の話を聞く学生たち



宝島の健康
よさ屋

かしたろう
赤山 榎太郎 さん
(天草町大江・94歳)

—— 毎日の楽しみは？
4アールの畑いっぱい、15種類の野菜を作っています。育てる・食べる・

分け合うことが一番の楽しみで、近所の人と魚などと物々交換をしたり、孫に送ったりしています。野菜をつまみにして焼酎を飲むのもたまりません。

—— 健康の秘けつは？

かぜをひかないことと夫婦円満であること。毎朝の食塩水を使ったうがい40年以上続けていて、おかげでかぜをひいていません。また、妻特製の自家製野菜のポタージュも健康を支えてくれるひとつですね。



わ かっさい
若っ喝采

せいき
山下 成喜 さん (魚貫町・20歳)

天草で生まれ育って20年。たくさんの人に囲まれ、温かく接していただき、私もこんなに大きくなりました。自宅周辺のお店は、夕方6時にはすべて閉まるので少しさみしいですが、人の心はとても温かく、そんな天草が大好きです。天草に残った若者の1人として、少しでも貢献できたらと思います。

新春特別企画 **宝島クイズ**

全問正解した人の中から抽選で40人に、すてきな景品をプレゼントします。皆様のご応募をお待ちしています(応募は本市に住所がある人に限り、1人1通のみ)。

【問1】 昨年7月23日、本市初の「国指定史跡」にある城の名前は何でしょう？

- ①倉岳城 ②宮田城 ③棚底城

【問2】 本渡地区の市街地循環バス“のってみゆうカー”の実証運行が昨年からはまりましたが、いつからでしょう？

- ①9月 ②10月 ③11月

【問3】 昨年10月28日に、天草御所浦が県内で初めて認定されたのは何でしょう？「日本●●パーク」

- ①ジオ ②サファリ ③フレンド

【問い合わせ先】 本庁・秘書課広報広聴係(内線1208)

- 景品=①神戸便往復航空券…1人②福岡便往復航空券…2人(以上天草エアライン株提供)③ポンカン5kg…5人(JA本渡五和提供)④デコポン3kg…2人⑤ポンカン5kg…3人(以上JAあまくさ提供)⑥五多幸すとらっぷ…5人(天草ありあけ株提供)⑦シモン芋製品セット…3人(株くらたけ提供)⑧へのかっぱストラップ…5人⑨さつまいも5kg…5人(以上栖本まちづくり協議会提供)⑩特産品詰め合わせ…3人(市物産振興協会提供)⑪Tシャツ…6人。

■応募方法=ハガキにクイズの答え(3問とも)、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だより天草へのご意見・ご感想を記入し、1月13日(必着)までに、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所・秘書課へ郵送してください。なお、当選者は2月1日号の「市政だより天草」に掲載します。

みんなの



広場

みんなを引っ張り、良いチームを目ざす
榎宇土小学校(榎宇土町) 6年 山下 滉太

榎宇土小学校には、男子球技部と女子球技部があります。男子は春と夏にソフトボール、秋と冬にはサッカーをしています。ぼくは男子のキャプテンをしています。ソフトボールでは、蒼北大会で準優勝、ライオンズ旗では3位という成績でした。今はサッ



部活で学んだことを胸に刻んで

有明中学校(有明町) 3年 鏡 啓太

有明中学校男子バレーボール部は、部員19人と少人数ながらも、7月に行われた県中体連で準優勝を果たし、九州大会に出場することができました。

私たちは、個人プレーよりもチームプレーを大事にして、一人ひとりが自分の役割を果たせるように日々練習を重ねてきました。そして、チーム全体で九州大会出場という目標に向かって努力した結果、プレーだけではなく、精神面においても成長することができたと思っています。

私は、これまで応援して下さった人たちに感謝するとともに、部活で学んだ『何事もあきらめない心』を胸に刻んで、これからの生活にいかしたいと思っています。

カーをしていて、この前の大会では優勝をすることができました。女子は、春と夏はビーチバレー、秋と冬にはサッカーをしています。夏休みに行われたビーチバレー大会では3位になることができました。今は男女とも、次の大会で優勝できるように練習をがんばっています。



メダルを手にして笑顔の1枚

地域や時代のニーズにこたえるために
幸愛保育園(牛深町) 幸愛保育園(矢橋清三園長・全園児78人)は自然に囲まれた郊外にあり、季節にあわせて行事を多く取り入れることにより、情緒豊かな子どもを育てています。日常の保育ではリトミック、運動あそび、英語、習字などで楽しく遊びながら学び、菜園では、

野菜を育てて収穫の喜びを味わっています。また、24時間テレビ「愛は地球を救う」の募金会場として夏祭りを行います。このほか、衛生面では、20年前から街頭募金に参加するなど、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。昨年から病児保育や園児へのフッ化物洗口を行っており、子どもたちと家庭のための保育園を目ざして、ともに成長しています。



たくさんおイモがとれたよ!!



元気にポーズを決めるひまわり組の園児たち

明るくげんきな子どもを目ざして

御所浦保育所(御所浦町)

御所浦保育所(森悦代所長・全園児73人)は、「明るくげんきな子ども」を保育目標に掲げ、今年で開所5年目を迎えました。

本園は、周囲を海や山などの豊かな自然環境に恵まれたところにあり、このような環境をいかして、3歳以上の園児は野山の散策に出かけたり、0~2歳の園児は散歩や戸外での遊びを十分に取り入れるなど、園外保育に力を入れています。また、運動会やおゆうぎ会など、園の行事を通じて友だちとのふれあいを大切にしながら、連帯感や協調性を養っています。

これからも、愛情いっぱい、夢いっぱいの保育環境の中で、心豊かでたくましい身体の成長を目ざしていきます。



きら煌めく人々たち

「女性による地域活性化」

黒田公生さん・尚美さん（御所浦町御所浦・ともに50歳）

御所浦町に住む黒田さん夫妻は、甘夏やモモなどの栽培を手がけている。JAあまくさの理事を務める公生さんが、同本所から「地域を底上げするために女性が必要。御所浦にだけ女性部が存在していないから、ぜひ作ってくれないか」との依頼を受け、尚美さんに相談した。これを受け、昨年8月に地域の認定農家を中心に10人程度を集めて準備委員会を設立し、わずか1カ月で同御所浦支所・女性部を設立した。現在、会員は部長の尚美さんを含め16人で、40歳から50歳

代で構成されている。同女性部の会員には職業や年齢を問わず、誰でも入ることができ、また、活動内容にも制限がない。しかしながら、何をすれば良いのかまだまだ手探りであった。そのうち、公生さんの発案でJAの敷地内に農作業の実習用の畑を始めた。さらに、台風シーズンの前に収穫することができるとある品種の「モモ」の木を植える予定である。そして、御所浦地域のイノシシ捕獲隊長もしている公生さんは、「イノシシをいかした、さまざまな料理を紹介できないか」と尚美さんに提案をしている。「立ち上げるのに苦労は感じなかった」と語る尚美さん。「会員数が少ないので、若い世代にも入ってもらおうように勧誘していきたい。この組織をコミュニケーションの場と考えて、あらゆる情報交換をしたい」と今後の活動に意欲を見せている。公生さんも「言い出した以上、この組織の活動を後押しするのが私の役目だ」と語った。

ハッピーバースデー

今月で1歳になります



山下 雄司 くん
魚貫町
父・文雄さん
母・千恵さん

みんなに、みぞがってもらってうれしいです！いっぱい散歩しようね！



松本 望愛 ちゃん
本渡町広瀬
父・元宏さん
母・玲美さん

おにいちゃん、だいすき。元気いっぱい、笑顔いっぱいの私です。



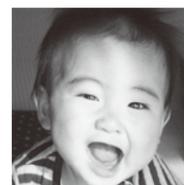
濱本 廉 くん
新和町大多尾
父・広喜さん
母・照美さん

おれ、アンパンマンが大好き。みんなこれからよろしくね。



太田 葵 ちゃん
船之尾町
父・義彦さん
母・陽子さん

音楽が大スキな葵です♡リズムにあわせてダンスもできるよ！



山下 鴻河 くん
本渡町本戸馬場
父・貴弘さん
母・晴美さん

体を動かすのが大好き。いっしょに遊んでね。



藤原 奈緒子 ちゃん
本渡町広瀬
父・陽祐さん
母・智美さん

すなおで明るい子に育ってね♡



石井 凜空 くん
本渡町広瀬
父・林太郎さん
母・未来さん

かわいい笑顔のいやし系♡パパとママの宝物です♡元気に育ってね！



原田 こころ ちゃん
志柿町
父・忠志さん
母・沙矢香さん

ホントはさびしがり屋なわたし。これからもいっしょに遊んでね☆



田尻 亜月 くん
久玉町
父・正幸さん
母・ななみさん

姉ちゃん、兄ちゃんいつも遊んでくれてありがとう！大好きだよ♡

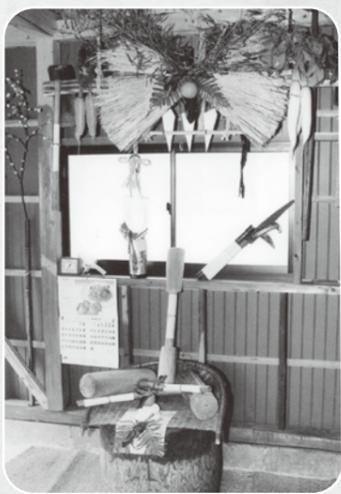
2月で満1歳になるお子さんを募集します！
●応募期限=1月12日(必着)。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく 歴史の証 「正月飾り “幸木”」 (河浦町今富)

正月飾りといえばしめ縄や門松が代表的ですが、天草地方の古い風習に“幸木”があります。昔は市内全域で見られていましたが、今では一部の家庭にしか残っていないようです。飾り方はそれぞれの家庭でさまざまですが、河浦町今富の川嶋富登喜さん宅の幸木は、約7尺(約2.1m)の松の棒をつつて縄を下げ、これに華やかな飾り付けをしたものです。まず、新年用の縄を下げた棒に、熨斗3つを竹に挟んだ“魂”とよばれ

るものを取り付け、さらに交差させた藁・竹の葉・裏白・ツルの葉・橙を飾り付けます。そして、ダイコンやニンジン・スルメ・鉄などを左右に下げ、白、箕、十字に交差させた杵を配置した庭飾りを置けば、正月を迎える準備が調います。正月飾りを終えると、1年を通して棒と縄だけをつり下げ、家に不幸がない限り毎年縄を足していくのが特徴的です。幸木は、その名のとおり“幸い”への願いが込められた縁起物です。



▲川嶋さん宅の幸木 (写真=同氏提供)

地域が動く 天草が動く

地区の資源をいかした地域づくりを進める

御領まちづくり振興会 (永田章一 会長)

五和町の御領地区には、日 本で現存する最古の小学校の一つである、芳證寺衆寮堂や江戸幕府の御用商人を務めた石本平兵衛の屋敷、めがね橋の原形といわれる馬場の石橋など、多くの歴史的文化的資源が残っています。御領まちづくり振興会では、平成17年度から住民で地区にある資源を見直し、歴史的・文化的財産と御領門前町商店街を結ぶ散策コースやガイドマップを作成し、住民が御領を案内する「御領町並み案内」を実施しています。また、昨年4月には同会女性グループ・わたちの会が同商店街の空室を活用して物産販売・交流施設「ふれあい処 わたち」をオープン。今では、地区住民や観光客の新しい交流の場になっています。今後は、昔から御領の石垣や石堀、護岸用に使われていた「御領石」を活用した商品の開発や、「住民総参加」を合言葉に御領の町並みを彩る「御領石竹秋宵まつり」の内容充実を図りながら、御領の魅力発信に取り組んでいます。



▲多くの人でにぎわう「ふれあい処 わたち」

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



編集後記

謹賀新年。“金が信念”ではないですが、夢を見て『宝くじ』を購入しています。以前、サマーチャンボを購入し、新聞の当選番号を見忘れ、仕事が終わりに急いで帰ると親父が「わりがた当たったらんやったぞ」と一言。なぜか、隠し場所が“当選”していました。【凡】

新年おめでとうございます。今年は2月にバンクーバーオリンピックが開催。前回のトリノ大会では、女子フィギュアスケート・荒川静香さんの金メダル1個だけだったので、せめて、それ以上のメダルを獲得してほしいです。日本勢のがんばりに期待します。【走】

今年は“絵心”を養うと心に決めました。それは、子どもにアンパンマンの絵を描いてあげたところ「これブタじゃん!」と、泣きべそをかかれたからです。私もショックで泣きたい気分でしたが、子どもは正直。ただ、ブタは言い過ぎでしょうよ…ブタは…。【素】

あけましておめでとうございます。新年の抱負は、人それぞれですが、自分の夢や目標をしっかりと持つことによって、それに向かってがんばることが出来ます。私は、いろんなことに『トライ』していきたいと思います。あとは、『トラブル』を起こさないように…。【葉】

～昔の懐かしいおやつ「そばぼたもち」～



新和町は、天草下島の東側に位置し、特に大多尾から宮南にかけては海に面した温暖な地域です。しかし、耕地は狭く段々畑が多かったため、やせた畑でも育つさつまいもやそばなどを栽培していたので、そのころから農作業のおやつなどに「そばぼたもち」を作って食べていました。今は、お好みで中にあんこを入れることもあります。

材 料 (約20個分)

- さつまいも…………… 300g
- 水…………… 300cc
- もち米…………… 100g
- 砂糖…………… 100g
- 塩…………… 小さじ1/2
- そば粉…………… 50～100g
- きな粉…………… お好み

作 り 方

- ①もち米は洗って一晩水に浸す。
- ②さつまいもは皮をむき、少し大きめに乱切りにする。
- ③鍋にさつまいも、水、水気を切ったもち米を入れ、ふたをして火にかける。沸騰したら火を弱め、水気がなくなるまで約30分蒸し煮にする。
- ④すりこぎで③をつぶしながら混ぜ、砂糖、塩を加える。最後にそば粉を少しずつ加えてかたさを調節する。
- ⑤食べやすい大きさにまるめて、きな粉をまぶす。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】
はまぼう



【市の木】
あこうの木



【市の鳥】
かもめ



【市の魚】
鯛

市民憲章 平成21年3月27日制定

わたしたちは、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一 感謝の心をもち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます